

富士通の講演、デモ、展示のポイント

ビジネス戦略を最小の IT 投資でスピーディーにシステム化する基盤として、クラウドの本格的な利用が進んでいます。富士通は、今年 5 月に「FUJITSU Cloud Initiative」を発表し、クラウドをトータルで支える製品・サービスの強化を図っています。

さて、このようにクラウドの活用が本格化する中で、それを支える運用はどのような状況にあるのでしょうか。

■ ■ クラウドになると運用はどうなるのか

例えば、プライベートクラウドの場合を考えてみましょう。ICT 資産の集約と統合が進むと、必然的に運用もシステム運用部門に集約されます。サーバなどの管理対象機器は膨大になり、機器間の依存関係も複雑になります。その結果、システム運用部門の負担は、むしろ増大します。システム運用部門は、複雑で膨大な ICT 資産を、効果的、効率的に管理し、安全、確実な運用を実現するために、多くの課題を抱えることになるのです。

- ・多様なルールで運用されてきた多くのシステムを、どのように集約すれば良いのでしょうか。
- ・クラウドのメリットを活かすには、変化に柔軟でなければなりません。今まで通りの運用で実現できるのでしょうか。
- ・個人に頼った属人的運用で、これからも乗り切れるのでしょうか。
- ・技術は日進月歩で進歩し、運用現場になだれ込んできます。果たして対応して行けるのでしょうか。

■ ■ 富士通の解決策

富士通は、そのような課題を解決するには、「人を含めた運用の自動化」がキーになると考えています。運用者の作業負担を軽減すると同時に高度な作業精度を実現するには、作業の自動化をさらに進めることが必須になります。しかしながら、ぶつ切りにした個別の作業を、手当たり次第に自動化することは好ましくありません。

まず、運用作業と運用管理のベストプラクティスを参照しながら、管理や判断を含む運用全体の標準化を徹底することが必要です。不要な複雑性を排除した上で、シンプルで明確なルールの下で、人の動き、人の判断の支援を含めた運用全体の自動化を図る、というアプローチが重要です。

ITIL(R)などの業界標準を参考にしながら運用を標準化すると、リーズナブルな費用で費用対効果の高い外部サービスを容易に利用することも可能になります。

■ ■ 講演

itSMF Japan コンファレンス講演では、「スピーディーなシステム化」というクラウドのメリットを支える DevOps への取り組みを交えながら、ビッグデータ PaaS サービスという先進的な分野における運用実践事例をご紹介します。クラウド運用の目指すべき方向はどこにあるのかを確認していただきたいと思います。

itSMF Japan EXPO 講演では、運用全体の標準化という基礎の上に立った「人を含めた運用の自動化」の実践事例をご紹介します。運用全体の標準化を図ることで、不要な複雑性を排除し、その上で、人の動き、人の判断の支援を含めた運用全体の自動化を図った事例です。

■ ■ デモ/展示

デモ/展示は、3つを予定しています。1つ目は、運用全体の標準化を支援する「**運用・保守作業体系（実践モデル）**」です。ITIL(R)のベストプラクティスを取り込み、運用・保守作業の「見える化」を進めるツールである「運用シナリオ」が特徴です。

2 つ目は、この「運用シナリオ」に基づき、運用の自動化を実現する「**Systemwalker Runbook Automation**」などの統合運用管理ソフトウェアです。人手による運用管理の限界、仮想化特有の複雑な運用、管理作業の増加などのクラウド運用の課題を解決します。

3 つ目は、クラウド運用を支えるサービスです。「**プライベートクラウド安定稼働サービス**」では、富士通の豊富な実績に基づいて、専門ノウハウをもった技術者が 24 時間 365 日の常時監視やトラブル対応を行います。「**Fujitsu Service Connect**」では、各種申請や状況把握のための運用ポータルとして、サービス利用者に IT サービスのカatalogを提供し、クラウドサービスの利用者と運用者を結び付けます。

【日時と場所】

●コンファレンス講演

・日時：11 月 28 日（木）15 時 15 分～16 時 00 分

・場所：A 会場（ボールルーム ウェスト）

・テーマ：

「ビッグデータ・クラウド基盤における開発、運用連携の実践～DevOps と ITIL(R)、PMO と SMO～」

●EXPO 講演

・日時：11 月 27 日（水）15 時 15 分～15 時 45 分

・場所：ネクサス

・テーマ：

「ランブック・オートメーションを活用した、IT サービス運用管理標準化の実践」

●デモ/展示

・日時：11 月 27 日（水）／28 日（木）12 時 00 分～18 時 30 分

・場所：ボールルーム前ロビーの中央（A/B 会場入り口前）

・内容

1) ITIL(R)をスマートに実践する「運用・保守作業体系（実践モデル）V3」のご紹介

2) 人を含めた運用の自動化を実現する「Systemwalker Runbook Automation」などの統合運用管理ソフトウェアのご紹介

3) 「プライベートクラウド安定稼働サービス」と IT サービス活用のためのポータル「Fujitsu Service Connect (FSC)」のご紹介

【詳細情報】

・富士通サイト：<http://fenics.fujitsu.com/itil/events/2013/itsmf/>

・公式サイト：<http://conf.itsmf-japan.org/conf10/>